



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL <https://www.keyware.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 広報IR室長 (氏名) 北川 久美子 (TEL) 03-3290-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,298	8.4	533	114.6	592	13.0	396	△3.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 430百万円(5.5%) 2025年3月期第3四半期 407百万円(△22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 47.39	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	50.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 10,641	百万円 7,601	% 71.4
2025年3月期	10,779	7,569	70.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 7,601百万円 2025年3月期 7,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 32.00	円 銭 32.00
2026年3月期	—	17.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	6.6	1,100	19.4	1,150	△6.1	800	△22.5	95.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 — 社 (社名) — 、除外 1社 (社名) キーウェアサービス株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	9,110,000株	2025年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	748,673株	2025年3月期	760,673株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,356,396株	2025年3月期3Q	8,057,379株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
(受注の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復が続きました。一方で、アメリカの通商政策の動向や物価上昇の継続による消費者マインドの悪化などを背景に、先行きについては依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、本年1月に総務省が発表した2025年11月のサービス産業動態統計調査(速報)によれば、売上高合計は前年同月比9.1%増と44カ月連続で前年を上回りました。また、当社グループの売上高の半分を占める「受注開発ソフトウェア業」も前年同月比14.1%増と前年を上回り、業界全体として底堅い需要が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、5カ年中期経営計画「Vision2026」に基づき、「基盤事業の質的転換」「プライムビジネス*の拡大」「新領域へのチャレンジ」を推進しました。

「Vision2026」の4年目となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、プロダクトやクラウドサービスなどの活用拡大に取り組むとともに、2021年に資本業務提携を締結した3社(株式会社J.R東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キヤノンマークティングジャパン株式会社)との連携を一層推進したほか、請負案件の拡大、不採算案件の抑制に引き続き取り組みました。また、医療ソリューション事業においては、医療ヘルスケア領域における専門性の確立と提供価値の向上を図るため、連結子会社(キーウェアメディカル株式会社)を2026年1月15日付で設立し、2026年4月1日付で当該事業を会社分割により承継する準備を進めています。

「プライムビジネスの拡大」に向けては、ERPパッケージ(SAP、Biz、IFS等)を活用した基幹システム刷新の提案活動を推進したほか、Bizを活用した自社開発テンプレートの新バージョン提供に向けた開発を進めました。あわせて、クラウド移行支援等を含む一貫したソリューションの提案を通じて高付加価値案件の獲得に努めました。また、営業部門および部門役職者を対象に外部講座を活用した情報セキュリティ教育を実施し、プライム案件における提案力および経営視点でのリスク判断力の強化を図りました。加えて、2025年9月には株式会社岩手銀行との資本業務提携を締結し、東北地域における営業基盤とソリューション提供力の強化に取り組んでおります。

「新領域へのチャレンジ」に向けては、連結子会社である株式会社オーガルが、宮崎県で次世代型施設園芸への参入を目指す合同会社に出资し、農業ICTを活用したキュウリの次世代型生産事業へ参画いたしました。また、サイバーセキュリティ領域における体制強化を目的として、エンジニアおよび営業担当者の育成に取り組んだほか、デジタル金融領域への取り組みの一環として、関連領域への参画やブロックチェーン技術を活用したサイバーレジリエンスサービス「デジタルシェルター」の導入提案活動を推進しました。

※ 当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は15,175百万円(前年同期比408百万円増、2.8%増)、売上高は16,298百万円(同1,263百万円増、8.4%増)、営業利益は533百万円(同284百万円増、114.6%増)、経常利益は592百万円(同68百万円増、13.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は396百万円(同13百万円減、3.3%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、期初に行った組織改編およびグループ会社間での事業譲渡等に伴い、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属していた事業の一部を「SI事業」に移管し、「SI事業」に所属していた事業の一部を「その他事業」に移管いたしました。これに伴い、各報告セグメントの前第3四半期連結累計期間の数値を当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しており、前期比較につきましては、変更後の区分方法に組み替えたものにより行っております。

① システム開発事業

受注高は9,228百万円(前年同期比726百万円増、8.5%増)、売上高は9,696百万円(同1,261百万円増、15.0%増)、営業利益は169百万円(前年同期は19百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、前期に大型案件の受注獲得があった公共系での反動減があったものの、運輸系や医療系、IoT関連での案件拡大などにより前期比で増加いたしました。売上高につきましては、運輸系、医療系で

の案件拡大に加え、前期に大型案件の受注があった公共系、I o T関連の開発が順調に進捗したことなどにより前期比で大幅に増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加などにより前期での損失計上から改善し利益計上となりました。

② S I 事業

受注高は4,128百万円(前年同期比233百万円減、5.4%減)、売上高は4,772百万円(同34百万円増、0.7%増)、営業利益は348百万円(同49百万円増、16.7%増)となりました。

受注高につきましては、官公庁向けの既存案件の拡大などがあったものの、前期に大型案件の獲得があったインフラ系、E R P系での反動減などが影響し前期比で減少となりました。売上高につきましては、E R P系などが前期比で減少となったものの、官公庁向けの既存案件の拡大などにより、前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、開発生産性の向上を図り原価低減に努めしたことなどにより、前期比で増加いたしました。

③ その他事業

受注高は1,818百万円(前年同期比84百万円減、4.4%減)、売上高は1,829百万円(同32百万円減、1.7%減)、営業利益は31百万円(前年同期は17百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、サポートサービス系などが堅調だったものの、コンサルティング系が軟調に推移し、前期比で減少となりました。損益面につきましては、固定費の抑制等に努めた結果、前期の損失計上から改善し利益計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、8,650百万円(前連結会計年度末比92百万円増、1.1%増)となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加、売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、1,991百万円(前連結会計年度末比229百万円減、10.3%減)となりました。主な変動要因は、繰延税金資産の減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,967百万円(前連結会計年度末比112百万円増、4.0%増)となりました。主な変動要因は、買掛金の減少、未払法人税等の減少、契約負債の増加、賞与引当金の減少、資産除去債務の増加であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、72百万円(前連結会計年度末比282百万円減、79.5%減)となりました。主な変動要因は、資産除去債務の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,601百万円(前連結会計年度末比32百万円増、0.4%増)となりました。主な変動要因は、その他有価証券評価差額金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね当初計画どおりに推移していることから、2025年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として第4四半期に認識される収益の割合が高くなる傾向にあるため、第3四半期連結累計期間の損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,863,790	2,778,721
受取手形、売掛金及び契約資産	6,112,040	5,120,552
電子記録債権	206,031	283,474
商品及び製品	65,352	62,903
仕掛品	19,565	37,414
その他	295,166	371,528
貸倒引当金	△3,741	△4,274
流动資産合計	8,558,205	8,650,319
固定資産		
有形固定資産	389,609	344,636
無形固定資産		
のれん	63,927	47,945
その他	290,524	256,525
無形固定資産合計	354,451	304,471
投資その他の資産		
投資有価証券	361,600	405,444
その他	1,115,309	936,863
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	1,476,865	1,342,263
固定資産合計	2,220,926	1,991,371
資産合計	10,779,132	10,641,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,137,554	934,660
未払法人税等	134,038	8,171
賞与引当金	848,141	448,880
受注損失引当金	—	2,339
資産除去債務	—	295,820
その他	734,550	1,277,171
流動負債合計	2,854,284	2,967,044
固定負債		
資産除去債務	355,222	70,884
その他	—	2,005
固定負債合計	355,222	72,889
負債合計	3,209,507	3,039,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	761,417	765,583
利益剰余金	5,420,752	5,407,460
自己株式	△449,394	△442,305
株主資本合計	7,470,011	7,467,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,613	133,780
その他の包括利益累計額合計	99,613	133,780
純資産合計	7,569,625	7,601,757
負債純資産合計	10,779,132	10,641,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	15,034,583	16,298,250
売上原価	12,442,608	13,221,018
売上総利益	2,591,975	3,077,231
販売費及び一般管理費	2,343,334	2,543,738
営業利益	248,640	533,493
営業外収益		
受取利息	231	2,296
受取配当金	4,754	42,517
持分法による投資利益	262,846	—
その他	25,810	29,905
営業外収益合計	293,643	74,719
営業外費用		
支払利息	270	—
支払手数料	11,171	14,750
その他	6,621	1,027
営業外費用合計	18,063	15,778
経常利益	524,219	592,434
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,485
特別利益合計	—	3,485
税金等調整前四半期純利益	524,219	595,920
法人税等	114,613	199,890
四半期純利益	409,606	396,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	409,606	396,029

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	409,606	396,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,556	34,167
持分法適用会社に対する持分相当額	△29,492	—
その他の包括利益合計	△1,935	34,167
四半期包括利益	407,671	430,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,671	430,196
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム開発事業	S I事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	(単位：千円) 四半期連結財務諸表計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,435,272	4,737,627	1,861,683	15,034,583	—	15,034,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	167,489	9,297	107,703	284,490	△284,490	—
計	8,602,762	4,746,925	1,969,386	15,319,074	△284,490	15,034,583
セグメント利益又は損失(△)	△19,072	298,587	△17,731	261,782	△13,142	248,640

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△13,142千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム開発事業	S I事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	(単位：千円) 四半期連結財務諸表計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	9,696,623	4,772,027	1,829,599	16,298,250	—	16,298,250
セグメント間の内部売上高又は振替高	136,213	18,228	124,945	279,387	△279,387	—
計	9,832,837	4,790,256	1,954,545	16,577,638	△279,387	16,298,250
セグメント利益	169,777	348,483	31,906	550,166	△16,673	533,493

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,673千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

期初に行った組織改編およびグループ会社間の事業譲渡等に伴い、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属していた事業の一部を「S I事業」に移管し、「S I事業」に所属していた事業の一部を「その他事業」に移管いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の表示に合わせて組替再表示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	159,763千円	166,393千円
のれんの償却額	22,389千円	15,981千円

3. その他

(受注の状況)

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 自 2025年4月1日 至 2025年12月31日			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
システム開発事業	9,228,863	8.5	3,253,390	2.9
S I 事業	4,128,775	△5.4	1,653,389	△5.8
その他事業	1,818,132	△4.4	484,666	△40.2
合計	15,175,771	2.8	5,391,447	△5.9

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。